

R07 年度 測量士試験 問題と解答 午前 No8 (基準点測量)

<R07-No8 : 基準点測量 : 問題>

図8に示すように、既知点Aから既知点B方向を基準とし、新点Cに対して水平角 α 及び距離Sの観測を行ったところ、表8の結果を得た。方向角Tを $290^{\circ} 00' 00''$ としたとき、平面直角座標系(平成14年国土交通省告示第9号)における新点CのY座標の標準偏差は幾らか。最も近いものを次の1～5の中から選べ。

ただし、既知点Aの座標及び方向角Tの誤差は考えないものとし、角度1ラジアンは $(2 \times 10^5)''$ とする。また、距離はすべて基準面上の距離に補正され、距離測定と角度測定は独立で互いに影響を与えないものとし、観測値に対する地球の曲率の影響は考えないものとする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

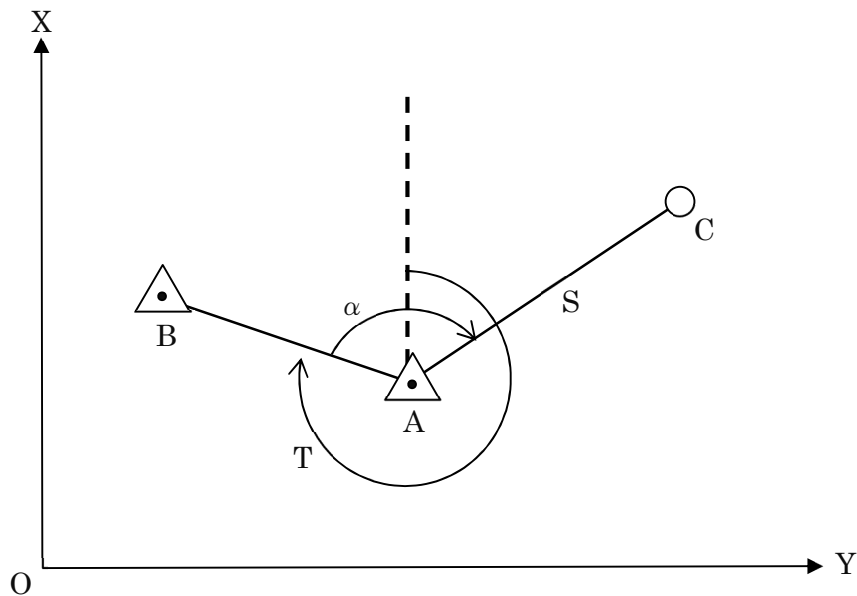


図8

表8

	観測値	標準偏差
水平角 α	$130^{\circ} 00' 00''$	$2''$
距離 S	1,000.00 m	10mm

1. 10mm
2. 12mm
3. 14mm
4. 16mm
5. 18mm